

授業科目 緩和ケア看護学

【担当教員名】 手島 美子	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○
【概要・一般目標：GI0】 緩和ケアの理念・トータルペインの概念を理解し、ターミナル期にある対象とその家族に必要な援助法について理解する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 緩和ケアの歴史と理念について説明できる 2. がん患者のトータルペインについて説明できる。 3. がん性疼痛のコントロールに必要な基本的知識について説明できる。 4. がん性疼痛を呈する患者の日常生活援助と緩和ケアについて説明できる。 5. 呼吸困難を呈する患者の日常生活援助と緩和ケアについて説明できる 6. がん患者の精神的苦痛の理解と緩和ケアについて説明できる。 7. がん患者のスピリチュアルの理解とスピリチュアルケアについて説明できる。 8. がん患者の精神症状の理解と緩和ケアについて説明できる。 9. ターミナル期にあるがん患者の日常生活援助における倫理的課題について説明できる。 10. 患者を看取る家族の予期悲嘆の理解と緩和ケアについて説明できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1) 緩和ケアの歴史と理念 2) がん患者のトータルペイン		1.2	講義、担当：手島 美子
2	がん性疼痛のコントロールに必要な基本的知識		3	講義、担当：手島 美子
3	がん性疼痛を呈する患者の日常生活援助と緩和ケア		3.4	講義、担当：手島 美子
4	呼吸困難を呈する患者の日常生活援助と緩和ケア		5	講義、担当：手島 美子
5	がん患者の精神的苦痛の理解と緩和ケア		6.8	講義、担当：手島 美子
6	がん患者のスピリチュアルの理解とスピリチュアルケア		7	講義、担当：手島 美子
7	ターミナル期にある患者の日常生活援助における倫理的課題		9	講義、担当：手島 美子
8	患者を看取る家族の理解と予期悲嘆		10	講義、担当：手島 美子
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ナーシング・グラフィカ 成人看護学6 緩和ケア	宮下光令	メディカ出版	2014・3,200円＋税
参考書				
その他の資料	必要に応じて資料を配布する			
【評価方法】 定期試験 (100%)	【履修上の留意点】 文献を活用し、自己に知識を深めること。			